

記 事

◎第2回理事会(昭.30.7.18)出席者:菊池会長,藤井,種谷副会長,山本,江里口,柴橋,星埜,後藤,河北,上野の各理事,中川書記長,朝倉,捧箸,堀内各主任,議事:1)6月中の行事その他報告,2)支部交付金決定について,3)夏季講習会聴講者の分野について,4)土木用語常設事典編集委員会を設置し次の諸氏に委員を依頼すること,(委員長)片平信貴,(顧問委員)福田武雄,(委員)岡本舜三,斎藤迪孝,井口昌平,丸安隆和,八十島義之助,山田順治,奥村敏恵,田中倫治,奥田朝朝,肥後春生,小林 泰,市浦 繁,寺島重雄,志関秀雄,坂本貞雄,小林元操,5)海岸工学委員会委員に,猪瀬寧雄,竹内良夫,浜田徳一,佐々木四郎,多谷虎男,市栄 譽の各氏を追加依頼すること,6)土木工学論文抄録第5集発刊したので同委員会解散について,7)土木会館建設委員会から報告の趣旨に基づき仮建物の建設及び借用地の適切な利用計画を引続き立案方委嘱のこと,9)矢野勝正氏に“ソ連・中国の土木事情について”講演依頼すること,9)カリフォルニア大学 Housner と Hudson 両教授の歓迎会を建築学会及び震研と共催で開催すること,10)ASCEの Executive Secretary, Mr. William N. Carey が去る5月退任されたについて感謝の意を表明すること,11)会誌編集方針は編集委員会で検討のこと,12)中国四国支部役員更迭を承認(支部長)大野台助,(常議員)大野台助,宮田隆一郎,芥川輝雄,佐々木 銑,滝山 養,(幹事長)坂田静雄,(所在地)広島市霞町,広島県土木建築部砂防課内,13)支部 編集委員更迭について(北海道)今 俊三,(関西)成岡昌夫,(西部)内田一郎,他は留任,14)会員入退会その他。

◎各種委員会

1. 会誌編集委員会(昭.30.7.22)星埜,後藤正副委員長,成岡関西支部委員,岸,竹下,菊池,林(一),長尾,針ヶ谷,白石,三浦,林(泰),尾藤(代),大宮,久保各委員,中川書記長,徳平幹事,岡本編集部員。

協議事項:1)会誌および論文集進捗状況報告,2)投稿論文および新規受付審査委員の決定,3)依頼原稿の件,4)学会誌編集方針について,5)その他,6)論文集29号掲載論文を次のとおり予定した。

丹羽義次・林口桃乃:堰堤内施設物が堤体の応力分布に及ぼす影響に関する研究,深谷俊明:漸変断面を有する三径間連続バリ橋の設計について,岡田 清:

分配法による鉄筋コンクリート不静定構造のクリープ解,加賀見一二三:複鉄筋コンクリート部材において軸に偏方向力を受ける場合の応力度並びに許容設計について,佐藤 裕:軌道の振動特性についての理論解,後藤正司:土の振動伝播及び圧密について,大野 諫:I型断面の曲バリの応力度公式とその応用,田原保二・沓掛哲夫:合成桁の対傾構と床版の荷重分布作用について。

7)40巻9号掲載論文を次のとおり予定した。

椿 東一郎:浮游流砂が流れに及ぼす影響について,小川 元:管内における浮游流砂の流砂量について,深谷俊明:三径間連続バリ橋におこるタワミについて,網本克己他2名:宇治川口駅構内防汐堤改良工事におけるプレバクト工法について,吉本 彰:コンクリートの変形に関する一実験。

2. 第2回学会誌編集小委員会(昭.30.7.11)後藤副委員長,猪股,尾藤両委員,岡本編集部員。協議事項:40巻8号会誌編集について最終的決定を行った(112ページ)。

3. 第2回学会誌抄録委員会(昭.30.7.13)左合委員長,樋口,平嶋,山口,稲田,加藤,梅田,二階堂,久野,嶋の各委員,千秋幹事,徳平編集幹事,岡本編集部員。協議事項:1)40巻8号登載用として6編を予定(割当8ページ),2)線越9編,新規16編について協議,3)投稿抄録の取扱いについて,4)ロシア語論文の抄録について,5)抄録別刷について,6)その他。

4. 第6回橋梁構造委員会(昭.30.7.9)出席者:福田委員長,成瀬,平井,小西,田中,友永,山田,川口,猪股の各委員,川崎,菊池両幹事,中川書記長,協議事項:1)JSC 橋梁構造工学研究連絡委員会の経過報告(平井委員),2)今秋開催する“構造物の安全度に関する研究発表会”について,3)応募原稿の審査,4)カリフォルニア大学の Housner, Hudson 両教授の歓迎会出席者について。

5. 第1回土木用語事典編集委員会(昭.30.7.28)出席者:福田顧問,片平委員長,井口,市浦,岡本,奥田,奥村,坂本,志関,寺島(代大井上),肥後,山田の各委員,中川書記長,捧箸主任,議事:1)片平委員長より前回打合会の経過報告ののち各委員の分担部門を確認,2)土地改良は農林省農地局建設部設計課柴田三男君を委嘱すること,3)用語選定方針を例について審議,4)各委員は8月末日までに用語を選定すること,5)次回に用語を審議決定すること。

6. 第9回水理委員会(昭.30.7.29)出席者:安芸委員長,本間,米屋 新旧 幹事長,井口(代高橋),岩塚,市浦,岡田,吉川,坂本,左合,嶋,寺島,浜田,林,村,米元,近藤(代浜守)の各委員,議事:1)本間幹事長は海岸工学委員会関係で多忙なため米屋秀三氏と交代のこと,2)本年度委員会計画として水理学の現況に昨年度業績を加味して今秋印刷すること及び水理公式集の改訂版を小委員会で検討すること,3)IAHR総会に安芸皎一,矢野勝正両氏が出席することに決定したが,その際1957年大会をアジアで開催する場合に日本で引受けるかどうかについて審議,4)IUGGのSecretaryからInternational Association of Hydrologyが1956年9月ダーシー100年記念Symposium開催について通知があつたので詳細を各委員に通知すること,5)安芸委員長に対し本間委員から送別の辞を呈し,委員長から挨拶があつた。

◎その他

1. 土木用語辞典編集打合せ(昭.30.7.1)出席者:上野調査部長,福田,片平,田中,小林,市浦,寺島の各氏,中川書記長,協議事項:1)選定方針及び委員の顔振れを協議。

2. 風に関するシンポジウム打合せ(昭.30.7.2)決定事項:1)10月17,18日に風に関するシンポジウムを気象研究所で開催,2)17日は地形と風に関する一般的研究発表,18日は午前特別講演,午後シンポジウム,3)一般講演申込は9月25日までとする,4)参加学会は海洋,航空,火災,地理,農業気象,土木,建築の7学会,5)9月末再び打合会を開催。

3. 講演会(昭.30.7.19,人事院ビル大講堂)聴講者約250名,講演者:矢野勝正氏,演題:ソ連・中国の土木事情について(講演内容別掲のとおり),日本学術

写真-1 講演会場



会議がソ連アカデミーから招聘された学術視察団一行の1人としてソ連・中国における土木技術のありかたについて有益な講演があり,非常に盛況であつた。

4. California大学のHousner, Hudson両博士歓迎会(昭.30.7.22)両博士は耐震工学の権威者で今回来朝された機会に本学会,建築学会,東大地震研究所,建設省建築研究所の4者共催で早大大会館において開催,参加者31名,内藤多伸氏,菊池会長,武藤建築学会会長等諸氏の挨拶によって初められ,和やかに歓談した。

支 部 だ よ り

1. 東北支部 第1回見学会(昭.30.7.9~10 両日)東北地建鳴子ダム工事を見学し参加者84名,非常に盛大であつた。役員会(昭.30.7.26)出席者:宮本支部長以下20名,議事:1)鳴子ダム見学会報告,2)夏季講習会並びに講演会開催について,3)支部内規定制定について,4)その他。

2. 中部支部 第4回幹事会(昭.30.7.8,犬山市名古屋水道取入口事務所において)出席者:鈴木幹事長ほか幹事17名,議事:1)学会地方編集委員に荒井利一郎氏を再度推薦すること,2)今後の行事予定について。第2回見学会(昭.30.7.23)見学箇所:愛知県施工衣浦橋及び大野海岸堤防工事,農林省施工亀崎干拓工事,建設省施工武豊付近海岸堤防工事,経過:当日雨天にもかかわらず150名の参加を得て午後1時名古屋武平町よりバス4台を連ねて出発,知多半島東海岸を南下して農林省亀崎工事事務所にいたり,同所奥田所長及び衣浦工事事務所清水所長からそれぞれ干拓工事と衣浦橋工事につき説明を受けて現場を見学したのち,半田市公会堂に至り海岸堤防工事について建設省長谷川愛知工事事務所長及び愛知県河港課福島係長より説明を受け,武豊町で建設省施工現場を見学して西海岸に至り大野町にて愛知県施工現場を見学し,午後6時30分帰名,解散した。

3. 関西支部 第2回役員会(昭.30.7.12.)議事:1)土木学会に対する要望書について,2)昭.30年度事業計画について,3)本部会誌編集委員に成岡昌夫君を推薦,役員会后矢野勝正博士を囲んでソ連及び中共視察の座談会を開催した。

4. 西部支部 第6回幹事会(昭.30.7.8.)出席者:坂梨,下川,天方,下津,上田,和田の各幹事,斎藤主事,議事:1)西部支部基金設定について,2)夏季講習会開催について,3)その他。幹事交替:門司鉄道管理局石川高明君の後任に横田光彦君,九電KK下津秀美君の後任に鈴山稲次君。

学会備付図書 (国内) 一覧 (7)

1. 昭 30.1.~6. 間に寄贈を受けた分

- 土木一般, 建築関係 ○土木工学概論, 工博楠 宗道 (森北出版) ○土木学会北海道支部昭 29 年度講習会テキスト 昭 30.2.11~12 ○同昭 29 年度研究発表会講演概要 昭 30.3.16 ○土木学会中部支部昭 29 年度講習会パンフレット 防災工学 ○土木学会西部支部昭 29 年度冬季研究発表会講演概要 昭 30.1.29 ○東急会館 (東京急行電鉄)
- 応用力学関係 ○応用力学演習 下巻, 杉本礼三 (森北出版)
- 土性及び土質力学関係 ○東京都区部地盤調査報告書 附東京都区部地盤種別図 (東京都建築局)
- 築業関係 ○コンクリート パンフレット 36 コンクリートの非破壊試験法, 明石外世樹 (日本セメント技術協会) ○同 37 (8 の改訂版) コンクリートの試験, 工博山田順治 (同) ○同 38 コンクリート マクラ木, ベルギーセメント工業情報センター編 (同) ○同 39 基礎のいろいろ (上), 大内二男・甲野繁夫 (同) ○同 40 同 (下), 同 (同) ○セメント工業八十年のあゆみ (セメント協会・日本セメント技術協会) ○鉄筋コンクリートの研究, 工博坂 静雄 (産業図書) ○鉄筋コンクリートの設計, 工博近藤泰夫・工博小野竹之助・田口文雄 (国民科学社) ○火力発電所のフライ アッシュ利用に関する試験研究 中間報告 6~9 (関西電力建設部) ○ダム用フライアッシュ・コンクリート, 専門委員会フライアッシュ分科会研究報告書 第1報 (国際ダム会議日本国内委員会) ○フライアッシュ関係文献目録, 専門委員会フライアッシュ分科会 昭 28 年度蒐集 (同)
- 施工関係 ○土木施工法 (増訂版), 谷口三郎 (風

問書房)

- 河川関係 ○流量年表 第 6 回 昭 28 (建設省河川局) ○河川流出に関する近似解法について I-X 昭 26~28 合冊, 柴原孝太郎 (同局開発課)
 - 発電関係 ○昭 29 年度水力調査書 (通商産業省公益事業局)
 - ダム関係 ○コンクリート ダム, W.P. Creager・J.D. Justin・J. Hinds 共著 村 幸雄訳 (丸善)
 - 水道関係 ○上下水道現況調査 昭 29. 3. 未現在 (建設省計画局)
 - 港湾関係 ○名古屋港大観 昭 30 年刊 (名古屋港管理組合)
 - 道路関係 ○道路舗装工学 (土木学会関西支部・関西都市道路研究会)
 - 鉄道関係 ○輸送奉仕の 50 年 (阪神電気鉄道)
 - 農業土木関係 ○昭 29 年度農業土木中堅技術者再訓練テキスト (海面干拓) その I (農林省農地局) ○同その II (同)
 - 科学技術関係 ○ソ連科学技術書の読解研究 対訳・註解, 原田千三 (ナウカ K K)
 - 企業管理関係 ○企業診断ハンドブック, 中小企業庁監修・中小企業診断協会編 (技報堂)
 - その他関係 ○学術用語集 機械工学編 MEJ 8718, 文部省 (日本機械学会) ○同 化学編 MEJ 8719, 同 (南江堂) ○同 建築学編 MEJ 8720, 同 (日本建築学会) ○原子力関係資料収書目録 (国立国会図書館) ○日本管工事工業協会会員名簿 昭 30.6.15 ○溶接学会会員名簿 昭 30.2. 現在
- II. 昭 30.1.~6. 間に購せし分 なし
- 付記 学会備付図書 (国内) 一覧 (6) は 40-4・p. 188 に掲載

昭和 30 年 7 月分入退会報告 (昭.30.7.1~7.31)

1. 入 会	102 名 (正 11, 准 42, 学生 49)
2. 退 会	47 名 (特 3 級 2, 正 10, 准 8, 学生 27)
3. 転 格	5 名 (准より正 5)

会 員 現 在 数 (昭.30.7.31 現在)

名誉員	賛助員	特別員	1 級	2 級	3 級	正 員	准 員	学生員	合 計	増加数
20	16		32	78	148	5 459	6 986	1 259	13 999	55

昭和 30 年 8 月 10 日 印刷	土木学会誌 第 40 卷 第 8 号	定 価 100 円
昭和 30 年 8 月 15 日 発行		
編集兼発行者	東京都千代田区大手町 2 丁目 4 番地	中 川 一 美
印刷者	東京都港区赤坂溜池 5 番地	大 沼 正 吉
印刷所	東京都港区赤坂溜池 5 番地	株式会社 技 報 堂
東京中央郵便局区内	千代田区大手町 2 丁目 4 番地	電話和 田倉 (20) 3945 番 4078 番
発行所	社 団 法 人 土 木 学 会	振 替 東 京 16828 番